

授業概要

社会心理学は、社会学と心理学の双方から発展してきた学問である。本授業では、後者の立場（心理学的社会心理学）を中心に講義する。講義内容は、社会心理学の歴史的背景、社会の中の個人（社会的認知）、対人関係を中心とし、社会心理学のその他の領域（集団過程、集合過程など）は秋期開講の「社会心理学Ⅱ」で扱うこととする。

特に、近年の社会心理学においては、社会的認知の視点からさまざまな社会現象を捉えるとともに、心理学の他領域あるいは他の学問領域との連携も盛んである。こうした社会心理学の全体像をなるべく簡潔にまとめて講義していく予定である。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（授業の進め方・成績評価、など）
第 2 回	社会心理学の歴史(1) 社会心理学的思想の歴史、19 世紀の社会心理学
第 3 回	社会心理学の歴史(2) 20 世紀の社会心理学、近年の研究テーマの概説
第 4 回	社会的認知(1) 原因帰属
第 5 回	社会的認知(2) 社会的推論
第 6 回	社会的認知(3) 対人認知
第 7 回	社会的認知(4) ステレオタイプ
第 8 回	自己過程の社会心理学(1) 自己注目、自己概念
第 9 回	自己過程の社会心理学(2) 自尊感情、自己評価
第 10 回	自己過程の社会心理学(3) 自己呈示、自己開示
第 11 回	自己過程の社会心理学(4) 没個性化
第 12 回	対人関係の社会心理学(1) 社会的交換
第 13 回	対人関係の社会心理学(2) 援助行動
第 14 回	対人関係の社会心理学(3) 攻撃行動
第 15 回	全体のまとめ
第 16 回	定期試験

到達目標

自らの日常生活でこれまで理解し難かった他者の行動や考え方について、講義内容をふまえて考えることができるようになる。

履修上の注意

毎回、授業の最後に「リアクションペーパー」の記述を求める。その日の講義内容をどの程度理解しているかを簡潔にまとめて記述してほしい。このペーパーに講義への疑問や質問等を書き込んでも良い。翌週の講義始めに、ペーパーに書かれた疑問への回答を行う。

なお、疑問や質問はなるべくその日の授業中に解決してほしいので、授業中に積極的に発現することを歓迎する。ただし、授業と関係のないおしゃべり（私語）は厳禁。私語を含め周囲に迷惑をかけるような行動がみられる場合には、退席を求め、以後の出席を認めない（単位の認定対象から外す）という措置をとることもあり得る。

予習・復習

特に予習は必要ないが、なるべく事前に授業プリントを配布するので、目通ししておくといよい。

リアクションペーパーに書かれた疑問や質問に対して担当教員が加える説明も含めた講義内容を基に、考えを深める姿勢が復習の一形態だと考える。

評価方法

平常点（授業への参加態度、リアクションペーパーへの記述内容）が3割、定期試験が7割である。第1回の講義で評価方法の詳細を説明する。

テキスト

特に指定しない。授業中に配布するプリントに沿って授業を進める。参考書は授業中に紹介する。

参考書例）「セレクション社会心理学」シリーズ（サイエンス社）